

だいとう子育て通信 No.124

大東子育て支援センター（あおぞら保育園内）
Tel (0854) 43-9500
(0854) 43-3129
Fax (0854) 43-9505

2月の予定

日にち	曜 日	活 動 内 容	場 所	時 間
2	土	久野サロン「よちよち」	元久野幼稚園	9:30~ 11:30
4	月	幡屋サロン「ほかほかひろば」	幡屋交流センター	
8	金	子育てサロン「うしお」	海潮交流センター	
14	木	ふれあいあそび教室	大東地域交流センター	
14	木	佐世サロン「ぼっぼ」	佐世交流センター	
15	金	大東サークル	大東地域交流センター	
21	木	佐世サークル	佐世交流センター	9:30~ 11:00
26	火	市育児相談	大東地域交流センター	

※2月は「子育て教室」「赤ちゃん教室」はありません。

3月の予定

日にち	曜 日	活 動 内 容	場 所	時 間
2	土	久野サロン「よちよち」	元久野幼稚園	9:30~ 11:30
4	月	幡屋サロン「ほかほかひろば」	幡屋交流センター	
5	火	おおぎっこサークル「ひなまつり会」	阿用交流センター	
6	水	子育て教室『みんな元気でね～お別れ会～』（要予約）	あおぞら保育園	
8	金	劇団風の子公演『風的一座』	あおぞら保育園 ホール	10:00開演
13	水	赤ちゃん教室『みんな大きくなったね・離乳食試食』（要予約）	あおぞら保育園	9:30~ 11:30
14	木	佐世サロン「ぼっぼ」	佐世交流センター	
26	火	市育児相談	大東地域交流センター	9:30~ 11:00

※3月は地域サークルはありません。

子育てサロン 「木馬」

開放型の遊びスペースです。木や布のおもちゃがたくさんあります。



※改修工事のため、2月、3月はお休みします。

地域サークル・サロン

支援センターから各地域に、おもちゃや絵本を持って行きます。在宅のお子様とご家族の方、誰が来てもかまいません。地域の方との交流の場です。一緒に遊びましょう。

第2金曜…海潮 第3木曜…佐世
第3金曜…大東

「ほかほかひろば」「よちよち」「ぼっぼ」は地域の方で運営されています。

「保育園って、どんな所かな？」 「同じ年の子どもと遊んでみたいな」

保育園 地域開放デー

各保育園では開放デーを設けています。ぜひ遊びに行ってみてください。

- ☆大東保育園（43-6132）……毎週水曜日 給食の予約／前日16時まで
※3月は6、13日のみ開放
- ☆かもめ保育園（43-5028）……毎週金曜日 給食の予約／前日16時まで
※3月は8、15、22日のみ開放予定
- ☆あおぞら保育園（43-3129）…毎日 給食の予約（金曜）／当日9時まで
※3月は休止

詳細は、各保育園にお問い合わせください。

子育て相談

気になること、
不安や心配、
どんなことでも！
ひとりで悩まないで
気軽に相談してください。

毎月第2・第4金曜日
10時～16時

●直接又は電話にて●
大東子育て支援センター
43-9500

～ 離乳食紹介～

9ヵ月～12ヵ月半ごろ

- やわらかご飯
- ● ● 団子入り
あったか石狩鍋
- ほうれん草のごま和え



温かいお鍋の献立です。大人の料理からの取り分けもできるので、簡単に栄養満点の食事がとれますよ。

旬の野菜の甘みをたっぷり味わえます。心も体もポカポカ温まりましょう。

* 団子入りあったか石狩鍋の作り方 *

◇材料◇

小麦粉 豆腐
大根 人参 じゃがいも 玉
ねぎ 白菜 キャベツ 鮭
昆布
みそ しょうゆ 砂糖

鮭を使い、みそで味付けするのが石狩鍋。北海道の郷土料理です。鮭は塩漬けしていない物を使います。

◇作り方◇

- ①野菜を、手に握りやすい大きさに切る
(手づかみ食べをしやすくするため)
大根、人参・・・スティック
じゃがいも、玉ねぎ・・・乱切り
白菜、キャベツ・・・角切り
- ②昆布でだしを取り、①の野菜を煮る
- ③鮭を入れてさらに煮込み、みそ、しょうゆ、砂糖で味付けする
- ④小麦粉と豆腐を混ぜて団子を作り、別ゆでする
- ⑤④のゆで上がった団子を③に加えて煮る

* お絵描きホットケーキ *

1 2月の子育て教室で、みんなで作りました

◇作り方◇

- ①ホットケーキの生地を作ります。
- ②生地を少し取り分け、細く出せる容器（ドレッシングボトルなど）に入れます。
- ③絵をかくて、その上から生地を流し込みます。

あとはいつものように焼くだけ。
ひっくり返すとびっくり！絵が出てきます。



始めに書いた絵の生地と後で流し込んだ生地の焼き時間が違うので、絵を描いたように色が付くのです。

※ホットプレートや焦げ付きにくいフライパンを使いましょう。

ふれあい遊び& リズム遊び教室

2月14日(木) 9:30～11:30
大東地域交流センター

寒い冬こそ親子でたくさん体を動かして、
ポカポカ温まりましょう！

予約不要・参加費無料

おおぎっこサークル ひなまつり会

3月5日(火) 9:30～11:30
阿用交流センター

女の子も男の子も、みんなで
ひなまつりを楽しみましょう。

予約不要・参加費無料

劇団風の子公演「風的一座」

全国の子どもに素敵な公演を届けてくれる劇団風の子さんが、今年もやってきます！

日時:3月8日(金) 9:45開場 10:00開演

場所:あおぞら保育園 ホール

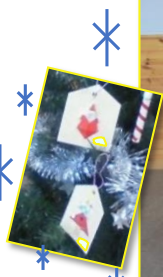
※予約不要、入場無料です。ご気軽にお越しください。

おおぎっこサークル ★クリスマス会★ 12月18日

今年のクリスマス会は、お天気がよく暖かい日でした。
たくさんの親子が参加してくれました。

表はツリー、裏はサンタクロースのコラージュカードを
作って飾り、会場のツリーも賑やかになりました。ふれあ
い遊びは笑い声がたくさん響き、温かい雰囲気。お家でも
たくさん遊んでほしいと思います！

ちょっと不思議な人形劇では、歌って踊ってにらめっこ。
なんだなんだ？と見に来る子ども達がかわいかったです。



みんなで呪文を唱えてツリーやケー
キが変身する「ロールスクリーンシア
ター」では、パンツ姿のおじいさんが
登場しました。みんなの声で、見事サ
ンタに変身！本物のサンタさんも来て
くれて、今年もプレゼントをしてくれま
したよ。



スイートポテトと
りんごでほっこり
おやつタイム。



サンタさん、ありがとう！
プレゼントは「てぶくろ人
形」です。

12月7日 手作り布おもちゃ教室 今年は、お弁当を作りました。



おにぎり、卵焼き、ブロッコリーにハンバーグ
♪豪華14個の具材が入ったお弁当を作りました。
小さなパーツが多くて大変でしたが、皆さん一生
懸命に縫っていました。

子どもを思って作る世界に一つだけの手作りお
もちゃ、特別な良さがありますね。

「虹の会」さんより、 手作りおもちゃをいただきました。



「手作り布おもちゃボランティア 虹の会」
さんから、町内の保育園、図書館、総合セン
ター、木馬に布おもちゃのプレゼントをいただ
きました。今年は「はらぺこあおむし」のひも
通し遊びです。カラフルな木の实やごちそうが
いっぱい！

虹の会の皆さん、ありがとうございました。

おはなしのおはなし



第3回／全5回「絵本は、未来を育てる」 ～豊かな想像力の土台を作ろう～

絵本は心を育て、ことばを育て、夢見る力を育てます。

絵本の中の体験は、子どもの内なる世界をどんどん広げていってくれるでしょう。

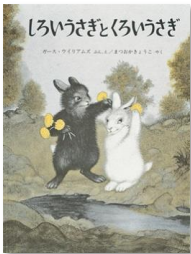
●未来に向かって成長する力を育てます●

絵本の中には、さまざまな世界が描かれています。日常のささいなこと、遠い国の物語、空想の世界……。子どもは成長するにつれ、絵本の中の出来事が現実か、そうでないかが理解できるようになります。子どもが物語を理解できるようになったら、いろいろな種類の絵本を読んであげてください。優しい本や楽しい本だけでなく、悲しい本や残酷な本でも、大人と一緒になら安心して受け入れることができます。

エリック・カールは、著書「はらぺこあおむし」を、ちっぽけだったあおむしが羽をひろげてはばたいていったように、自分もいつか成長できるんだという希望を感じられる物語だと言っています。

子ども達は物語の登場人物に自分の姿を重ね、共感したり、憧れたりして、将来の自分を想像します。想像力が育つことによって、他人を思いやる気持ちや、愛情や勇気など目に見えないものを信じる力が育ちます。

おすすめ絵本 ～子どもと読みたい！大人になっても読みたい！～



しろいうさぎとくろいうさぎ
ガース・ウィリアムズ／作
福音館書店 1965年



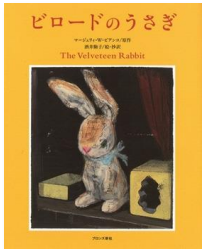
しょうぼうじどうしゃ じぶた
渡辺茂男／作
山本忠敬／絵
福音館書店 1963年



チリンのすず
やなせたかし／作
フレーベル館
1978年



おりこうねこ
ピーター・コリントン／作
徳間書店 2000年



ピロードのうさぎ
マージェリィ・W・
ピアノコ／作
酒井駒子／絵
ブロンズ新社 2007年



そらいろ男爵
ジム・ボム／作
ティエリー・デデュ／絵
主婦の友社 2015年



八方にらみねこ
武田英子／作
清水耕三／絵
講談社 1981年



ずーとずっと
だいすきだよ
ハンス・ウィルヘルム／作
評論社 1988年



黒ねこのおきゃくさま
ルーズ・エインズワース／作
山内ふじ江／絵
福音館書店 1999年



こぐまと二ひきのまもの
西川おさむ／作
童心社 2004年

●絵本を選ぶ時に 大切にしたいこと●

「ぐりとぐら」の作者、中川李枝子は、「優れた子どもの本とは、読んで子どもが成長する本です」と語ります。毎年多くの絵本が出版されていますが、本当に良いものは何なのか、大人は選ぶ目を養ってください。

長く読み継がれている絵本は、それだけ長い間子どもに喜ばれてきたものです。古い本でも子どもには新しい出会い。愛され続ける絵本を、ぜひ読んであげてほしいと思います。